

令和6年度

予算の概要 参考資料

OPEN
CAMPUS

ここがわたしの、夢の入り口。

OPEN
CAMPUS

ここがわたしの、夢の入り口。

愛知医科大学

愛知医科大学



学校法人愛知医科大学

令和6年度予算について ＜予算編成方針＞

学是「具眼考究」の実践実現

- 学是の実践実現を念頭に置いて編成。

予算編成目標

- 資金収支予算ベースでは経済変動の影響を柔軟に受け止めるとともに、いざというときの瞬発力となる繰越支払資金の具体的な積み上げ目標金額を10億円とし、事業活動収支予算ベースでは、経常収支の黒字予算確保を図る。

事業計画の概況（1/5）

教育について（医学部・看護学部）

- 医学教育について、5学年次から予備校の模擬試験の受験させることで、早い段階から、医師国家試験合格に向けた意識付けを行います。
- ICTを用いた講義が増え、講義時に使用するタブレット端末やノートパソコンの使用時間が増えたことで、充電する場所、コンセントの数が不足し問題となっていたことから、学生が常時使用する4つの講義室の机に、コンセントを増設します。
- 次世代型Whole Bodyモニタリング超高度リハシステムを導入し、診療参加型臨床実習の環境及び生理学も含めた臨床研究の場としての充実を図るとともに、重複疾患患者にも安全で高度なリハビリを提供することができ、AIを駆使した個別医療の推進に資するようにします。
- 看護学部においては、学生支援の一環として、入学時にパソコンを準備できない学生への貸し出し用パソコンを追加で用意します。また、令和7年度の博士課程開設に向けて、書類審査、実地審査等を経て認可を受けること、開学に向けた体制（募集活動、入学試験、研究室準備等）整備を行います。

事業計画の概況（2 / 5）

研究について

- ・ シングルセル遺伝子解析を行うための機器が設置後10年を経過しており、不具合が生じているため、最新の医学研究推進を図るため補助金を利用して機器の更新を予定します。
- ・ 平成30年に選定されて開始した私立大学ブランディング事業である「健康維持・増進を支える次世代先制地域医療：炎症コホート研究」について、引き続き実施します。

事業計画の概況（3 / 5）

診療について

- ・ リハビリテーションニーズの増大と多様化に伴い、各診療科からの依頼件数が増加したことによる患者一人当たりの一日の実施単位の減少に対し、スタッフを3名増員し実施（請求）単位数の回復、増加を図ります。そして、更なるリハビリテーション医療の拡充を目指し、多様化や潜在的なニーズに対応するため、増員と合わせて療法室の大幅な拡張を図ります。
- ・ 特定機能病院において病棟専従の管理栄養士を配置することで、入院栄養管理体制加算の算定が可能となったため、病棟拡大に対応し3名の管理栄養士を採用します。
- ・ 令和5年度に増設したMRIを使用し、ダウンタイムが発生しないようにしながら、1台を更新更新するほか、更新時期を迎えた周術期生体情報モニタや、GCU／新生児情報モニタなどの診療機器を更新します。

事業計画の概況（4/5）

メディカルセンター

- ・ 北館に設置されているエアコン（GHP）が2015年に設置されており、病棟などの24時間系の運転時間が標準使用時間を大きく超えている。故障の都度対応するよりも保守委託を契約することで、経済的かつ迅速な対応を取ることができるようになります。
- ・ 電話交換機が設置後9年経過し、安定稼働寿命を超えている。故障してもすぐに更新ができず、その間電話が使えなくなってしまうため、更新を行います。

事業計画の概況（5/5）

眼科クリニック M i R A I

- ・ **眼科クリニックM i R A Iの看護師は、外来、日帰り手術や各種準備業務など多岐にわたった業務を行う必要がありますが、今後は日帰り手術件数、外来患者数増加に伴い不足が見込まれるため2名の増員を行います。**
- ・ **また、看護師と同様視能訓練士についても、検査数の増加に伴い1名の増員を行います。**

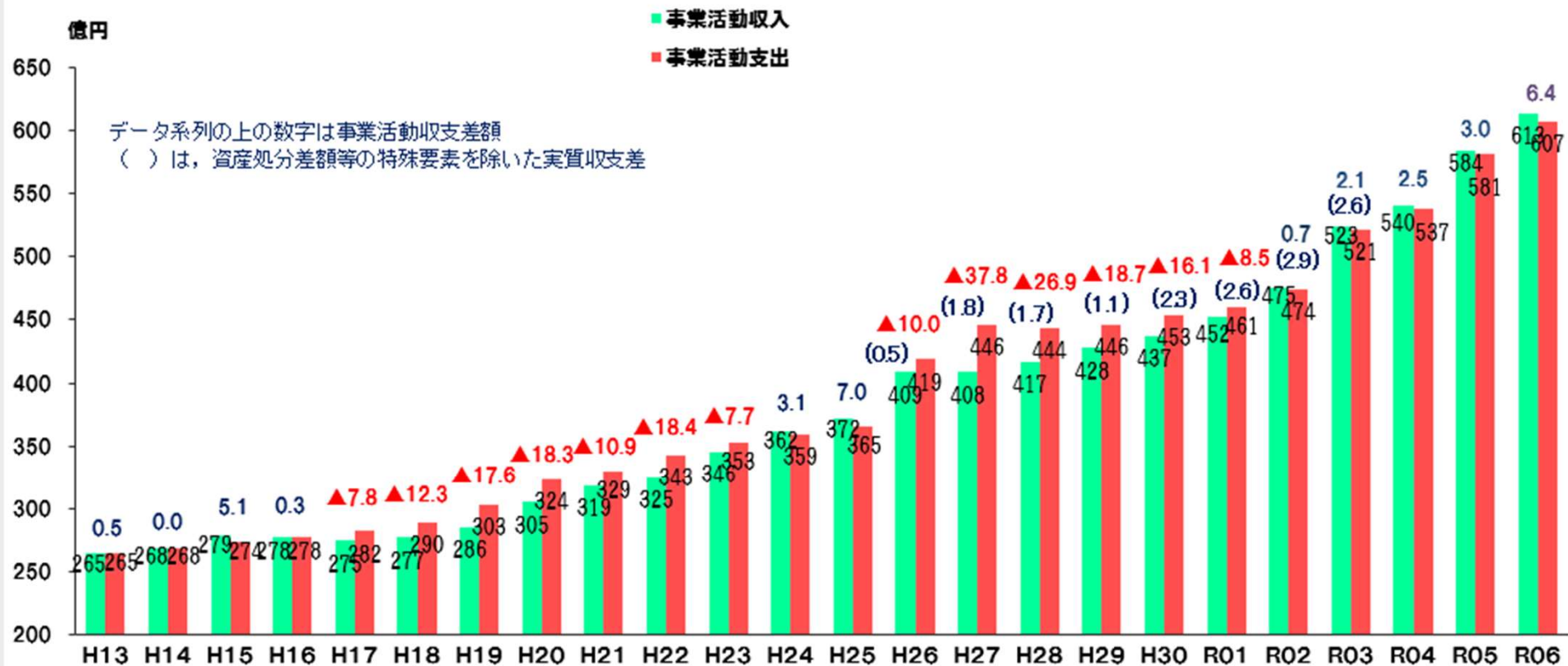
予算規模の推移

令和6年度予算状況は、

事業活動収入 613億2,946万余円

事業活動支出 606億9,102万余円

となっており、事業活動収支差額は6億3,843万余円の黒字となっています。



※ 過年度の予算額は各年度当初予算額である。

教育・研究に関する重点事業

(1) 教育環境の整備

(総額261,520千円)

機材及びシステムの新規導入または追加整備等



- 大学1号館2・3階講義室(202,301,302,303)の机に電力供給用のコンセントを取り付ける。
- シミュレーションセンター開設時に購入した高機能シミュレーターの定期メンテナンスを行う。
- 有効的な実技演習実施のため、小児シミュレーターの購入等を行う。
- 学生支援の一環として、学生へ貸し出すことを目的としたパソコンを7台購入する。
- 令和5年度から令和10年度までの6年間で次世代のがん対策の基盤を担う専門医療人を養成する教育プログラムを大学間連携によって開発・実施する。
- 次世代型Whole Bodyモニタリング超高度リハシステムを導入することで、診療参加型臨床実習の環境及び生理学も含めた臨床研究の実践場としての充実を図る。

教育・研究に関する重点事業

(2) 特定資産を財源とする事業

(総額 12,266千円)



教育活性化引当金特定資産を財源

- 医学部若手研究者に対する教育研究奨励助成を実施する。
- 看護学部若手研究者に対する研究助成を実施する。



国際交流推進引当特定資産を財源

- 外国人研究者に対する研究助成を実施する。

教育・研究に関する重点事業

(3) 研究環境の整備

(総額60,789千円)

(4) 研究活動の活性化

(総額10,680千円)



遺伝子解析を行うための機器購入

- シングルセル遺伝子解析を行うためにセルソーターとリアルタイムPCRを更新し、最新の医学研究推進を図る。



研究支援業務のDX化

- 研究費予算収支簿通知システム・出張申請・旅費申請システムを導入することで、研究管理体制の強化を図る。

私立大学研究ブランディング事業

- 「健康維持・増進を支える次世代先制地域医療：炎症評価コホート研究」を継続実施する。

教育・研究に関する重点事業

(5) 教育充実活性化対策

(6-1) その他

(総額 3,500千円)

(総額 8,721千円)



医学部における教育充実に向けた取り組み

- 教育の充実化に貢献した講座等に対してインセンティブを支給する。

教員の研修事業

- 教員に対して多彩な研修を実施し、全教員に対してスキルアップの機会を多く提供し、継続的な教育改革を実施する。

クラブハウスリニューアル

- クラブハウスにおいて、劣化により利用しづらい給湯器を更新する。

教育・研究に関する重点事業 (6-2) その他



トレーニングルーム床埋込体重計撤去，床補修工事

- 運動療育センターのトレーニングルームフロアにおいて、床の補修工事を行うことでスペースを有効に活用できるようにする。

看護学部入学試験に係るシステム改修

- 看護学部において令和7年度入学者選抜より「共通テスト併用型選抜」を導入することに伴い、「願書受付システム」の改修等を行う。

リーダーシップ研修

- 革新的かつ効果的な看護学部運営のため、将来のリーダー候補者等に対して企業マネジメントを学び、組織のマネジメントやリーダーシップを学修する。

本院の医療に関する重点事業 (1-1) 教員・スタッフの増員

(総額107,060千円)



理学療法士の増員

- リハビリテーションニーズ増大と多様化に対応するため、理学療法士を3名増員する。



臨床工学技士の増員

- 医療の質, 安全性の向上を高めるために臨床工学技士を1名増員する。

診療看護師(NP)の増員

- 医師のタスクシフト等を鑑み、診療看護師(NP)を7名増員する。

本院の医療に関する重点事業 (1-2) 教員・スタッフの増員



社会福祉士・精神福祉士の増員

- 愛知県からの委託事業等に係る業務に対応するため社会福祉士・精神保健福祉士を3名増員する。

歯科技工士の増員

- 体表面補綴外来に歯科技工士を1名増員し、更なる患者の獲得を目指す。

管理栄養士の増員

- 栄養管理の向上, 入院栄養管理加算の算定など可能とするため管理栄養士を3名増員する。

薬剤師の増員

- 経過観察入院病棟に配置するための薬剤師を1名増員する。

本院の医療に関する重点事業 (2) 労働環境の改善

(総額23,828千円)

ディスポタイプ吸引器の導入

- 一般病棟においてディスポタイプの吸引器を導入し、看護師の負担軽減、患者環境の改善に繋げる。



本院の医療に関する重点事業 (3-1) 診療活性化対策

(総額1,645,703千円)



新リハビリテーション施設の増設

- リハビリテーションニーズ増大に対応するため、施設の増設を図る。

- 運動療育センター（体育館）プールエリアを改修
- リハビリテーションセンター面積約1,200㎡拡張



本院の医療に関する重点事業 (3-2) 診療活性化対策



麻酔科医の確保

- 手術件数, G I C Uにおける安定的な医療体制の維持, 麻酔科当直体制の維持を目的とした麻酔科医の確保を図る。

病院長インセンティブの支給

- 診療報酬請求額の前年度対比を評価指標とし, 各種項目を最良評価することで, 成果を挙げた診療科等にインセンティブを支給し, 診療の一層の活性化を図る。



本院の医療に関する重点事業

(4) 診療用機器の整備

(総額699,922千円)



MRI装置の更新

- 老朽化した現在使用中のMRI装置1台を更新する。



効率的な手術室運営のための機器整備

- 効率的な手術室運営を図るため、ハイスピード滅菌機、Cアームなど整備する。

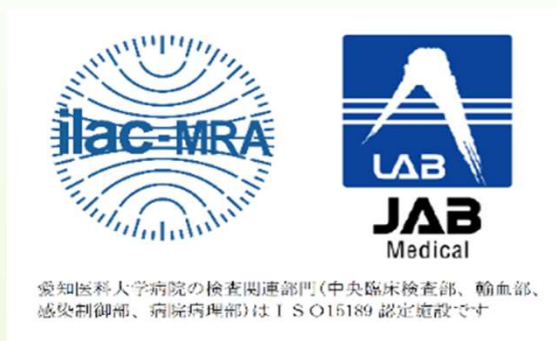


各種機械装置の更新

- 透析液供給装置, RO装置, 腹部エコー, GCU/新生児生体情報モニタ, 多項目自動血球分析装置の機器, 周術期生体情報モニタリングシステムの更新を行う。

本院の医療に関する重点事業 (5) その他

(総額18,423千円)



検査関連部門における国際規格の認定維持

- 国際規格の変更に伴い、ISO認定維持のための内部監査員養成セミナーを実施する。

病院機能評価受審事業

- 令和7年度に控える病院機能評価受審事業に向けて円滑な受審体制を構築する。

コンテナユニット(CoMU・コミュ)活用事業

- コンテナユニット(CoMU・コミュ)を、大規模イベント時に派遣するなどして活用する。

感染検査室 非常用電源由来の空調設備の増設

- 感染検査室における非常用電源由来の空調設備を増設する。

メディカルセンターの医療に関する重点事業

(1) 教員・スタッフの増員

(総額 34,877千円)

(2) 病院システム更新関連

(総額 16,014千円)



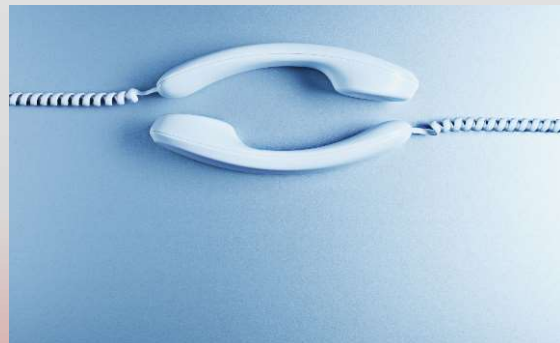
理学療法士の増員

- リハビリテーション医療の充実に向けて、理学療法士3名、作業療法士2名、言語聴覚士2名を採用する。



メディカルセンターエアコン(GHP)保守委託

- 北館に設置のエアコン(GHP)の保守委託をする。



メディカルセンター 電話交換機更新工事

- 故障リスクを回避し、通信の信頼性を維持するために安定稼働寿命を超えている電話交換機を更新する。

眼科クリニックMiRAIの医療に関する重点事業

(1) 教員・スタッフの増員

(総額 25,272千円)

(2) 広報事業

(総額 10,000千円)



看護師，視能訓練士，クラーク(医師事務)の増員

- 日帰り手術件数，外来患者数の増加に対応するため看護師2名，視能訓練士1名を増員する。また，クラーク(医師事務)の増員・待遇改善をする。

広報事業

- 大学レベルの高度な治療を行う眼科クリニックとして紹介元医療機関の開拓および眼科をお探しの個人への訴求のために各種広告展開を実施する。

法人・大学運営に関する重点事業 (1) 創立50周年記念事業

(総額64,672千円)



愛知医科大学創立50周年記念誌の作成

- 創立50周年記念事業の一環として「愛知医科大学創立50周年記念誌」を作成する。



法人・大学運営に関する重点事業

(2) 建物修繕

(総額160,700千円)



構内電力ケーブル等更新工事 (1年目/3カ年計画)

- 構内に張り巡らされている高圧電力ケーブルのうち、経年劣化により更新が必要な3回線を更新する。

電力監視システム等更新工事 (4年目/4カ年計画)

- 構内全ての電力状態を常時監視し、各棟の系統ごとに電気使用料等の各帳票を蓄積、管理している設備の更新を行う。



中央監視設備更新工事 (2年目/4カ年計画)

- 中央棟の全ての冷暖房設備、換気設備、給排水に至るライフラインの供給を監視する設備の更新をし、中央監視の安定稼働を図る。

3号館(基礎科学棟)空調設備更新工事

- 3号館(基礎科学棟)の空調設備更新工事を行う。

法人・大学運営に関する重点事業

(3) その他

(総額196,213千円)

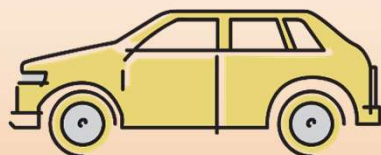


経営改革・イノベーション推進事業

- 理事長直轄の組織である経営戦略推進本部において、
 1. 地域医療連携推進
 2. 救急医療体制改革
 3. 働き方改革
 4. 財政基盤改革
 5. 中長期計画
 6. 本学事業部門の再編
 7. リハビリテーション学部構想
 8. その他に取り組む。

財務会計システムの更新

- 電子帳簿保存法へ対応するために財務会計システムの更新を行う。



駐車場管理システム、機器の更新

- 駐車場管理システム更新作業、立体駐車場及び外来平面、職員駐車場機器更新作業を行う。